※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	美術３　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・周囲と自分の関りや新たな気付きが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の使い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は振り返りレポートや相互評価を行い作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の動きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	カタクチイワシのマグネット制作	【立体】【鑑賞】 1.　スケッチ モチーフとなるカタクチイワシをよく観察し、特徴を感じ取りながらスケッチをする。 2. 制作① スケッチをもとにシナ合板にイワシの形を大まかに描き、不要な部分をのこぎりや彫刻刀を使って形作っていく。 制作② モチーフをよく観察しながらアクリル絵の具を使って着色し、対象に近づけていく。背面にマグネットを取り付ける。 2.　鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a:　(技能)　意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b:　(発想や構想) 伝えたいイメージ、美しさなどから発想を深め、創造的な表現の構想を練っている。 c:　(鑑賞) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	スケッチ 制作作品 制作作品	スケッチ 制作作品 制作作品	制作作品 制作作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	フィギュア制作	【デザイン】【立体】【鑑賞】 1. デザイン 人体の骨格について理解を深め、3 次元のものの見方を知る。 作りたい形のデザインを正面、横、背面から考える。 2. 制作① デザインをもとに針金で骨格を作る。 石粉粘土で肉付けを行っていく。乾燥したら磨き・掘り込みをして形を整えていく。 制作② アクリル絵の具を使って着色する 3. 鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a: （技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b: （発想や構想） 伝えたいイメージ、美しさなどから発想を深め、創造的な表現の構想を練っている。 c: （鑑賞） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	スケッチ 制作作品 制作作品	制作作品 制作作品	制作作品 制作作品 ワークシート
三学期	フィギュア制作	【デザイン】【立体】【鑑賞】 1. 制作③ 引き続きフィギュア制作の続きを行う。 アクリル絵の具を使って着色する 細部を仕上げていく。 フィギュアの部分が完成したら、土台をつける。 2. 鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a: （技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b: （発想や構想） 伝えたいイメージ、美しさなどから発想を深め、創造的な表現の構想を練っている。 c: （鑑賞） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	制作作品	制作作品	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度